

学区自主防災会 2009 年度第 5 回役員会（2009.11.20）報告

[詳細は、比叡平 3 丁目自治会自主防災部のページ（久保田部長のブログ）

<http://blog.livedoor.jp/shagal/> を見てください]

1. 報告事項（久保田事務局長）

- 1) 9月 27 日、山中比叡平学区初動支所班と学区代表者との懇談会が行われた。避難所の鍵、MCA 無線、市民センターの防災備蓄、避難所の耐震化に関して議論した。
- 2) 10月 20 日前後、自治会館に飲料水などの自動販売機が設置された。
- 3) 10月 30 日、「山中比叡平の防災に関する大津市への要望書」を総合防災課に提出。
- 4) 10月末、赤い羽根共同募金の「安心・安全なまちづくり活動支援事業」に応募した。
- 5) 11月 2 日、滋賀県大津土木事務所から、学区の自治会長に対して「土砂災害防止法に基づく基礎調査の説明会」が行われた。

2. 「山中比叡平の防災に関する大津市への要望書」に対する大津市総合防災課からの回答の内容検討

- 1) [要望] 地震調査研究本部による琵琶湖西岸断層帯の長期評価の改訂を受けて、山中比叡平学区の被害予測を再検討する。 「回答」：花折断層帯については何の回答もない。
- 2) [要望] 国土交通省の指導に従って、比叡平地域の大規模造成宅地調査を行う。その結果を震度予測・被害予測に反映するとともに、必要な地盤対策を行う。 「回答」への批判：2006 年に既にこの方針が出ているが、全国 147 箇所のうち 13 箇所しか調査されていない。大津市は全国の様子を見ているだけである。
- 3) [要望] 大地震による地盤災害等で孤立が予測される学区については、孤立を想定した対策を行う。 A) 孤立想定地域の防災備蓄品は現地に備蓄する。 「回答」への批判：医療機材・医薬品の比叡平備蓄は考えてない。孤立するから置くべきと言っているのにすれ違である。仮設トイレは避難者 200 人に 1 基が基準であり、31 人と予想されている比叡平への設置は考えていないようだ。[要望] B) 大地震では初動支所班員が参集できなくとも山中比叡平学区の避難所等を住民が使えるようにする。指定避難所である市民センター、比叡平小学校の体育館および玄関と教室、幼稚園の玄関と教室、指定福祉避難所である児童クラブと比叡平保育園の鍵を住民の代表に預ける。 「回答」に対して：具体的な返事がない。[要望] C) 大地震により道路等が崩壊し孤立が想定される山中比叡平学区はヘリコプターによる初期対応を原則とする。 「回答」への批判：一般的な対応で、具体的な返事がない。（自衛隊ヘリ要請について話題となった。）[要望] D) 初動支所班員と学区自主防災会との連携をはかる。これについては現在進んでいる。
- 4) [要望] 市民センターが学区災害対策本部として機能するように必要な機材を備蓄する。 「回答」への批判：市民センターには発電機も、医薬品もない。MCA 無線は

上から下へ下ろしただけである。

- 5) [要望] 避難所については場所を指定するだけでなく、どこに何人収容するか、トイレをどうするかというような具体的な計画を立て、そのために必要な資機材を配布して下さい。福祉避難所については、要介護者が生活できるように、介護関係の人材確保の計画をすすめ、トイレ等ハード面も整えて下さい。 「回答」への批判：具体的な内容がない。
- 6) [要望] 大津市の責任で学区に必要な防災機材を現地に配備する。または学区自主防災会に対する補助金を継続する。 「回答」に対して：1回限りの補助金でやれと言っている。他の自治体では、必要なものを揃えて学校に置くなどの措置をしているところもある。ただ、消防局は、支援を続けるために要綱の見直しをするという姿勢を見せている。この点は評価したい。
- 7) [要望] 避難所の安全を確保する。 「回答」：一般的なことしか言ってない。
- 8) [要望] 緊急給水口の蛇口を増設する。 「回答」：増設できないとしている。(自分で設けるしかない。)
- 9) [要望] 防火水槽と消防ポンプの整備を行う。 「回答」：防火水槽は市内に 64、比叡平に 2 あるから(学区は 35 あるから比例的に)これでよい、消防ポンプも 4 台あるからそれで良いとの返事である。しかし 1 丁目の東南部に防火水槽が一つ必要である。
- 10) [要望] 比叡平の調整池の管理を定期的に行うとともに、一部は下流への移設を検討する。 「回答」：具体的な返事がない。

3. 上記 2 に関連した今後の行動

- 1) 的を絞って要求をしていく。とりあえず、防火水槽に関して消防局に要請する。
- 2) 総合防災課と次回(平成 22 年 1 月 22 日(金))に話し合いをする。

4. 消火栓の点検と道路の陥没について

- 1) 2 丁目では点検をした。ふたを開け、コックが見えていればよい。
- 2) 道路の陥没は古い東南商事下水道の存在による。澤田米穀店前の道路も陥没した。他にも危ないところがある。調査すべきである。

5. 防災予算の使い方

蛍光文字の腕章とヘルメット(白)を整備する。

6. 11 月 22 日(日)9:00 に学区自主防災会の発電機のエンジンをかけるので協力を依頼。
7. 次回は平成 22 年 1 月 22 日(金)19:30 から。

以上(文責: 笠田)